

茨城県常陸太田市立郡戸小学校（学校長 古橋 康夫）

実施日	平成20年2月20日（水）	時間	午前9時30分～午後1時10分
実施場所	視聴覚室、1年～3年教室、ひばり教室	対象/人数	1～6年生117名
担当教諭	南 和男	ファシリテーター	根本 久美子
講師	馬 晋（中国・留学生） オレリアン・パロン（フランス・県国際交流員） ジョナサン・マイケルズ（アメリカ・県国際交流員） パーコフィ・エイキンス（ガーナ共和国）		

活動内容

- ・各国の紹介（国旗・生活のようすや位置などについて説明）
- ・各国の遊び（講師のパフォーマンスやジャンケンゲーム、民族衣装試着体験）
- ・5・6年生ワークショップ「もしも100人の村だったら」
- ・給食タイム

児童の感想

- ・きょうはガーナのたいこをたたかせてくれてありがとうございました。ガーナの子どもたちは、あまいものはたべないなんてしらなかったです。またあえるといいです。そのときまたおはなしをきかせてください。よろしくおねがいします。
- ・2月20日水曜日はありがとうございました。フランスのことを教えてくださってありがとうございました。わたしは、あごをつかんでにらめっこがおもしろかったです。あと、にせギターがおもしろかったです。またぐん戸小学校にきてください。
- ・先日の、ワールドキャラバンで、郡戸小学校にきてくださってありがとうございます。中国でのあいさつや有めいな物が分かりました。日本と中国は、にいていても生活は少しちがうんだなあと思いました。私も中国に行くきかいがあれば行ってみたいです。
- ・先日はお忙しい中、郡戸小学校へ来ていただきありがとうございます。ワールドキャラバンが面白いものとなり、とても楽しい1日になりました。また給食の時、同じ班ではありませんでしたが、クラス全体が明るいふんいきになりました。来年も、来る事が出来れば、郡戸小学校にきてください。来年は、ジョナサン先生の授業を受けてみたいです。先日は、本当にありがとうございました、お体に気をつけて、お仕事を頑張ってください。

先生の感想

- ・もう少し、各国の言語や文字、子供の遊びなど身近な話題にふれる時間がもてたら、なおよかった。

- ・高学年の「もしも100人の村だったら」は非常によかった。国際交流を進めていく根底には、誰もがしっかりした国際感覚をもつことが大切であることを実感することができた。
- ・全児童一人一人に講師の方々からメッセージカードをいただき、大変喜んだ。

成果と課題

- ・本校では、今年度で2回目のワールドキャラバンを実施した。全校児童を対象に活動を計画したので、年齢差があり、講師の方々も大変であったと思う。しかし、コーディネーターの根本さんの助言で、どの学年の児童も交流活動を生き生きと楽しむことができた。
- ・事前の調べ学習が不十分であったことなどから、講師の方への質問が個人的な内容になりがちだったので、次回は事前の活動も充実させて当日を迎えたい。
- ・本校は田園地帯の真ん中に位置し、学区内に商店も少なく、異文化にふれる機会はめったにない。今後もこのワールドキャラバンの実施を継続し、人権意識を高め、異文化コミュニケーション力のある児童の育成を目指していきたい。

